

○15番 内山湊太君

長峡中学校3年、内山湊太です。私は、イベントホールについて質問します。

私は、毎年、ピアノの発表会に参加していますが、ホールの予約が取りにくいそうです。行橋市で行おうとすると、もし取れても、好きな月日を選ぶことが、かなり難しいそうです。そこで、現在、文化ホールの利用状況は、どのような状況ですか。

○後半議長 渡部稜君

執行部に答弁を求めます。

教育長。

○教育長 山田英俊君

内山議員のご質問にお答えします。コスメイト行橋は、複合文化施設として平成2年8月に開館しております。文化ホールは、舞台機構を備え、429の客席、3つの楽屋を有し、講演会や演奏会、発表会などに活用されております。 去年は、工事のため11月より閉館しておりましたので、令和5年度の実績となりますが、文化ホールの利用件数は223件で、2万5,635人の利用がございました。

利用の申込みは、利用予定日の10カ月前の月の1日から受付を開始し、希望者が多数の場合は抽選により決定しております。令和7年6月から11月までの半年間の予約開始時の状況ですが、予約希望者が最も多くいた月は11月で、予約を希望された方が8人、そのうち予約をされた方は5人で、3人の方は予約ができない状況でございました。希望者全員が予約できる月もございますが、全ての利用者が10カ月前から希望日を決めているわけではございませんので、特に抽選日を過ぎて予約手続きをする際は、既に予約が入っており、希望に沿えないケースが生じているのが現状でございます。

以上です。

○後半議長 渡部稜君

内山議員。

○15番 内山湊太君

ありがとうございました。会場数が少ないことが、私は、取りにくい一つの要因だと思います。例えば冷暖房の付いたフリースペースを増やしてイベントをしたり発表会をしたりと、市民が気楽に借りられる会場を増やすのはどうでしょうか。

○後半議長 渡部稜君

執行部に答弁を求めます。

教育長。

○教育長 山田英俊君

ご提案、ありがとうございました。いま現在、行橋市では、市民の方へ多様な活動や学びの場を提供するために、多くの施設を管理しております。

令和2年に開館しましたリブリオ行橋には、グランドピアノを完備し、200人規模を収容できる、けやきホールや飲食可能で打合せなどができるスペース、各種会議を開催することができるスタジオを3部屋、併設しております。また、図書館がリブリオ行橋へ移転したことに伴い、コスメイト行橋では令和3年にレクチャールームや多目的ギャラリーが新設され、絵画や写真などの作品展示や学習会、研修会の会場として利用できるようになっております。

このほか、ピアノがある場所として中央公民館やリブリオ行橋の向かい側にある旧百三十銀行行橋支店、通称赤レンガ館におきましても、ミニコンサートや展示会などが開催されております。

教育委員会としましては、市内には校区公民館なども含め様々な活動拠点がございますので、具体的な利用目的や規模、必要な設備、電源や照明、音響設備など、市民の皆様の利用形態に合わせた施設を有効活用していただければと考えております。なお、リブリオ行橋や市のホームページにおいて、各施設の場所や料金、利用形態などを確認することができますので、ぜひご利用していただければと思います。以上であります。

○後半議長 渡部稜君

内山議員。

○15番 内山湊太君

ありがとうございました。現在もホールがたくさんあると分かりました。

次の質問に移ります。次は、外国文化についてです。

中学生や高校生になると世界について学ぶ機会が学校など、多くあると思います。ですが、その国の文化について、あまり知らない人が多いと私は思っています。世界各国の文化を学び自国の文化を再認識することによって、より国々の魅力を理解できると思いますが、市長はどのようにお考えでしょうか。

○後半議長 渡部稜君

執行部に答弁を求めます。

市長。

○市長 工藤政宏君

お答えします。内山議員のお考えと全く一緒です。僕も小学校のころに1週間ほど韓国にホームステイに行ったことがありますし、大学時代に実際にトルコからヨーロッパを横断してアフリカのモロッコまで一人で野宿などをしながら、時に危険を察知しながら、いろんな経験をしながら海外を経験しました。そのことによって、日本の素晴らしさ、あるいは日本にまだまだ足りていないところ、いろんなことを学びましたので、外国人の方々に接する機会をつくっていくというのは、大変重要であると思っています。以上です。

○後半議長 渡部稜君

内山議員。

○15番 内山湊太君

回答、ありがとうございました。私も外国の方々との交流というのは、世界各国の文化を学ぼうと重要だと考えています。なので、行橋市に住む外国人の方々に協力していただき、出身国の文化と日本の違いなどを教えてもらう講演会のようなイベントをするのはどうでしょうか。

○後半議長 渡部稜君

執行部に答弁を求めます。

市長。

○市長 工藤政宏君

ありがとうございます。多文化共生セミナーといったものを、これまでも実施してきておりまして、行橋市としましても、やはりそういった様々な文化を背景に持つ方々と共に生きていく多文化共生ですね、こういったセミナーを実際に行ってきております。

行橋市には、現在、ネパール出身の国際交流員が昨年の4月から在籍しております。昨年度においては、ネパールのことを知っていただくために、先ほど申しました多文化共生セミナーを行ってまいりました。また、小学校や公民館でもネパールについて話す機会などをいただけてきました。

この多文化共生セミナーだけに限らず、例えばK I Z U N Aという日本語教育をされている団体もありますが、産業祭に出ていただいて、市民の皆さんと交流を図りながら食べ物を販売したり、そういったこともなさっております。

それ以外にも、議員がおっしゃるような、こういったイベントかというのは、また考えていかなければいけませんが、そういった交流の機会、ぜひつくるべきかなと思っておりますので、前向きに検討させていただきたいと思います。以上です。

○後半議長 渡部稜君

内山議員。

○15番 内山湊太君

市長、前向きな回答を、ありがとうございました。

以上で質問を終わります。